

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

木と森にまつわる話

我が国には古くから岩や森や樹木には神が宿る、または木そのものが神であるという自然崇拜の信仰があった。モリという言葉は「神々が籠るところ」と考えられ、神社・仏閣は古くから「鎮守の森」と言われる雑木林や木でかこまれて神域として保護されてきた。そして特に大きな木には注連縄(しめなわ)が張られて神木として大切にされている。「注連縄」とは「占め縄」を意味し、神が占めた神聖な領域であり神の縄張りであって立ち入り禁止の場所なのだ。

一般に「神木」には杉の木が多く杉はまっすぐ高く伸びていくので神が降りるのに都合がよいと考えられた。「神木」に限らず日本人には昔から計り知れない長い年月を経てできた大木(巨樹)に畏怖を感じ厳粛な気持ちになり、神が宿っているように感じ、崇める心が受け継がれている。人間は巨樹の前に立つと自然界の不思議な営みと力強さに敬意を払う本能的な心があるのだろうか。木は「神が依りつくもの」ということである。神に供える「榊」はその字から明らかなように、まさに神の依り代の木である。こうした森林や樹木を大切にする気持ちを今後も持ち続けたいものである。

木は伐採されてから柱などの用材となる。家を建てるには一本でも柱が欠けてはたつことができない。木は人の生活を支える大切なものであり尊いものとされてきた。死者を数えるのに「…柱」というのは人の生活の中に木が深くかかわってきた表れで、死者に対する敬いの思いからきているのではないか。

また「人材」という言い方は、能力のある人を尊ぶ気持ちが込められた表現で、人の能力の可能性が意識されていると思われる。「適材適所」という言葉もある。木も人も所を得て役に立つ、能力を発揮するという共通の優れた見方である。昔から木が人の生活と密接にかかわってきたことがよくわかる言葉の使い方である。

日ごろ森の中で四季を通して自然を相手に活動している我々であるが、木や森から受ける様々な恵みに感謝しつつ、これからもこの環境を大切にしていきたい。

山田靖彦

1. 5月の主な活動内容

- ① 4月27日(水) 9名 炭材調整
- ② 4月30日(土) 20名 竹林整備 ZFC 通信印刷発送 年次総会 炭材準備
- ③ 5月 4日(水) 7名 炭材準備
- ④ 5月 7日(土) 15名 炭材準備
- ⑤ 5月11日(水) 8名 炭材準備
- ⑥ 5月14日(土) 19名 炭焼準備 庄戸バザー出店
- ⑦ 5月18日(水) 10名 木工
- ⑧ 5月21日(土) 21名 炭焼き体験会 運営会
- ⑨ 5月22日(日) 4名 炭焼き

2. 総会の報告

1 昨年度活動報告

2 今年度役員報告

執行役員 代表 吉田 代表補佐 橋本 役員 谷垣 会計 兼武
業務担当 工具 工藤 小口払い 鈴木 通信 関根 監査 関根

3 今年度活動予定

4 会計報告

3. 運営会の報告

- ① 体験会参加人数 大人 8人 子供4名 ご協力ありがとうございました。
- ② 納涼会の日程 8月27日(土) 森の家バーベキュー場にて 詳細後日

4. 6月の主な活動内容

- ① 5月25日(水) 炭小屋内作業 桜手入れ
- ② 5月28日(土) 炭だし 炭小屋裏間伐 ZFC 通信印刷発送
- ③ 6月 1日(水) 炭小屋内作業 炭小屋裏調査
- ④ 6月 4日(土) 桜林伐倒
- ⑤ 6月 8日(水) 炭小屋内作業
- ⑥ 6月11日(土) シイタケホダギほん伏せ クヌギ林草刈り
- ⑦ 6月15日(水) 炭小屋内作業
- ⑧ 6月18日(土) 炭小屋裏間伐 運営会
- ⑨ 6月22日(水) 炭小屋内作業
- ⑩ 6月25日(土) 日清オイリオ体験会 内容調整中 ZFC 通信印刷発送
- ⑪ 6月29日 (水) 炭小屋内作業

以上